

**花巻市東和地域協議会
平成22年度第3回会議記録**

日 時	平成22年10月6日(水) 10:00~12:30							
場 所	東和総合支所1階 第1会議室							
委 員	役職	氏名	出席	欠席	役職	氏名	出席	欠席
	会長	小原 宏	○		委員	菊池 元子		○
	副会長	吉田 英雄	○		委員	猿舘 祐子	○	
	委員	浅沼 幸雄		○	委員	菊池 三恵		○
	委員	小川 洋征	○		委員	平野 広	○	
	委員	平野 保	○		委員	門馬 優子	○	
	委員	赤坂 学	○		委員	藤井 公博	○	
	委員	多田 啓紀	○					
出席職員	東和総合支所長 赤坂謙 地域振興課 課長 多田潤、課長補佐 藤根幸生、地域づくり係長 姉帯工、 主査 伊藤精一 市民サービス課 課長補佐 小国朋身 まちづくり部地域づくり課 課長 伊藤盛幸、地域振興係 主事 八重樫尚孝							
傍聴者	1名							

1 開会（司会：藤根課長補佐）

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告

2 会長あいさつ

今日の協議会は自主活動として、小さな市役所第2ステージについて説明を受け、委員の意見をうかがいたいのでよろしく願います。

3 議題（議長：小原会長）

(1) 合衆市イーハトーブ花巻構想に基づく具体的な取り組み内容（案）について

※ 地域づくり課から資料により説明

多田委員	<p>第2ステージに入るといことだが第3ステージというのがあるのか。目標年次はどのようになるのか。第2ステージは住民が具体的な行動に移るための準備期間ととらえられるがどうか。</p> <p>コミュニティ会議の世帯数にばらつきがあるが、好ましい規模をどのように考えているのか。例えば、道路建設を考える場合に、複数のコミュニティ区域にまたがる場合がある。</p> <p>今の区域は小学校学区が基本となっているが、東和小学校開校で学区が一つになってしまう。区域のくくりも検討する必要があるのではないか。</p> <p>コミュニティ会議と各種団体の関係について、地域ビジョンの策定は広範囲にわたるので、農業団体（改良区や水利組合）を入れるべきではないか。また、東和地区では文化的資産（神社、神楽など）を大事にしてきたこともあるので、そのような団体も含めてはどうか。他にも商工関係団体も入れてはどうか。</p>
------	--

伊藤課長	<p>第3ステージと目標年次について、今までも検証しながら取り組みやすい体制を検討してきた。地域づくりは時間がかかるもので到達点があるのかという部分がある。第3ステージがいつかということは難しいし、目標としているのは地域でできることを地域で行い、お互いに助け合う姿なので、達成年次というのも難しいが、皆さんの意見を聞きながら必要なものは改正していく、</p> <p>第2ステージが準備期間かということについては、住民参画の意識はまだまだ低いという感じがすることから、何回でも市民への周知を図っていく必要があるので、準備期間ということではない。第2ステージの大きな変更点は指定管理になり、職員が1人になること、条例制定である。</p> <p>コミュニティ区域は歴史的なつながりのある区域を想定しており、今の小学校学区にとらわれているわけではなく、昭和の大合併前の町村単位だったりする。地域住民の合意があれば、コミュニティ区域の統合もありえるし、分割もありうる。また、地域をまたがった道路整備の場合などは、共通の課題として連合の検討会をつくる方法もある。</p> <p>資料に掲げる関係団体は主なものであり、地域によっていろいろな団体があるので、それらの団体と連携して地域づくりを進めていくことが望ましい。</p>
藤井委員	<p>構想自体はすばらしいものだと評価しているが、この制度を進めていくことにあたって、各振興センターへの権限移譲とか、裁量権について併せて検討すべきではないか。振興センターで解決できるものは解決できるようにした方がいいのではないか。</p>
伊藤課長	<p>権限委譲については難しい部分がある。窓口業務を全部するにしても機材の投入などの問題もある。</p> <p>裁量権については、コミュニティ会議に地域づくり交付金を自由に使ってよいことにしている。市の事業とコミュニティ会議の事業で重複しているものもあるが、すみ分けは行っていない。同じ市の財源を使うことであるから、自由にスピーディに実施するため、地域にとって良いものになればよい。</p>
平野（保）委員	<p>道路や産業の問題はコミュニティ会議でも取り組んでいるが、非常にやりにくい部分でもある。コミュニティの範囲を超えたものは、市主導でやってほしい。市の役割とコミュニティの役割を整理することも大事であり、そうするとコミュニティで取り組むことが具体的に見えてくる。</p>
伊藤課長	<p>来年度はコミュニティ会議の活動をサポートする職員を各部、総合支所に置くことを検討しており、支援体制を充実していきたい。</p>
平野（広）委員	<p>小さな市役所の「小さな」という言葉の意味がよくわからなくなってきた。これまで市がサービスしすぎてきた部分を地域に任せているように見える。</p> <p>コミュニティ会議と市民のつながりが見えない。各種団体の長が集まって作っているが、各団体の会議とコミュニティ会議がつながっていない感じがする。住民から直接選ぶ仕組みを作っていないと一体化しないのではないか。</p>
伊藤課長	<p>小さな市役所は、地域づくりの拠点になるところが27箇所の振興センターで、窓口業務も行うというものである。それぞれの地域で住民が主体となってまちづくりをするということで市役所に見立ててネーミングしたものである。行政規模を小さくして外部委託を進めるという意味ではない。</p> <p>コミュニティ会議の活動が一般住民に見えてこないことについては、地域ごとの意見交換会を通じて浸透させていきたい。条例化で地区長の役割を位置づけ、自分たちの選んだ代表者がまちづくりのリーダーとして会長が動きやすくなり、選んだ側も協力していく気持ちが芽生えていくことも期待している。また、各種団体の課題もコミュニティ会議にあげてもらい、活動を円滑にしている方法も期待できる。</p>

平野（広）委員	<p>コミュニティ地区長をどうやって住民が選ぶのか。</p> <p>各種団体に自治会が入っていて、自治会長よりも区長が先行しているのはおかしいと感じる。自治会をどのようにとらえているのか。</p>
伊藤課長	<p>地区長＝コミュニティ会議の代表者となるが、代表者はコミュニティ会議の役員会、総会で決めている地域がほとんどである。役員は地域で選ばれている区長、構成住民から選ばれている各団体の長などであるので、間接的には住民の代表者といえる。</p> <p>資料の図は、行政区長と地区長の役割や関係を示したものである。自治会も最も基礎的な地域における団体として図に入れた。市内では行政区よりも自治会の数が多くなっており、区長と自治会長を兼任しているのは30%となっている。</p>
猿舘委員	<p>非常勤職員を委嘱するとのことだが、戸籍などのプライバシーの対策は大丈夫か。</p> <p>地域ビジョンはどこまで自由に策定できるのか。市の基本計画との整合性は必要なのか。</p> <p>制度をスタートするときに、コミュニティ会議ができることと市でやることを明確にした方がいいのではないか。住民にとっても市にお願いすることとコミュニティ会議にお願いすることがはっきりした方がよい。</p> <p>コミュニティ会議の役員に公募枠というのがあるのもよいのではないか。</p>
伊藤課長	<p>地域づくりの大きなねらいは住民の参画である。地域ビジョン策定にあたっては住民の声の吸い上げが大事になってくる。コミュニティ会議の役員選任で公募を規約に入れて取り組んでいる地域もある。より多くの地域の人材にコミュニティ会議の活動にいかしてもらうことが必要である。</p> <p>プライバシー対策は、市の非常勤職員として委嘱し、守秘義務を遵守してもらうようにする。</p> <p>地域ビジョンは市の計画を気にしないで、自分たちの町の望む姿を描きながら作っていくものである。無理に合わせる必要はない。</p> <p>市とコミュニティ会議の役割分担について、市民からの要望は担当部で集約して、コミュニティ会議と相談しながら対応していく制度をつくっていく。</p>
門馬委員	<p>各種団体に婦人会とあるが、今は一般的に使用しないので婦人団体と修正してほしい。</p> <p>構想の周知方法は何か新しいものを考えて、住民の皆さんが何らかの知識を持って自分も一員だという自覚をもってもらう方法を考えなければならない。</p> <p>小さな市役所構想の進展に伴い、東和など旧3町の地域色が薄まっているような感じがする。例えば、市の大きな事業が中心部に集中して行われている。旧3町の地域も強くなって花巻全体として強いまちになっていくと思うので、同じような行事はどこでもできるような方法や順番に行うことを考えていくことも必要ではないか。</p> <p>身近な地域の課題の解決はしやすくなったかもしれないが、もう少し全体的にレベルの高いものを目指していくためには、世帯数の少ないコミュニティ会議では限界があると思うので、区域のくくりを考え直す機会を早目に設ける必要があるのではないか。</p>
伊藤課長	<p>婦人会の表現は検討する。</p> <p>周知方法については、振興センターだより、コミュニティ会議だよりを通じて図っているが、まだ浸透していない部分もあり、今年から広報はなまきに活動を紹介している。ホームページは更新が遅れているので強化していきたい。効果的なやり方を工夫していきたい。</p>

	<p>地域色、大規模事業については、貴重な提言として受け止めたい。</p> <p>区域のくくりは市からは提案は差し控えるべきもので、住民の考えがまとまってから話題にすべき部分あるが、合意があればできるものと思われる。</p>
赤坂委員	<p>参画の意識づくりという点に疑問、不安を感じる。振興センターに集まる顔ぶれはいつも同じだ。私より若い人たちは関心がないのかと感じる。</p>
伊藤課長	<p>参画意識について、最初はまず参加してみることでと思う。次の段階で提案するようになれば参画ということになる。若い年代も参加できるような時間も設定をしながら運営できればよいのではないか。</p>
赤坂委員	<p>地域づくり交付金が今後増える可能性はあるのか。</p>
伊藤課長	<p>交付金の総額は変わらない。配分方法が変更になった。均等割と面積割を上げて、世帯割を減らした。交付金が増えた地域と減った地域がある。</p>
小川委員	<p>地域住民で協働して自立した地域づくりをと言うが、実際は住民の関心が無い。行政の各種の説明会があっても区長しか集まらない。そういう状況ではコミュニティ会議の取り組み（草刈りなど）に参加する人は非常に少ない。地域づくりをコミュニティ会議に押し付けていると言われていたが、市当局の自助努力が見えてこないと思う。</p> <p>地区長に選ばれた人は、これまではある程度自由に動けたが、条例で委嘱されると責任が大きくなる。選任も大変だと思う。人材が多い地域はいいが。県庁や市役所を退職した人はこういう地域づくりにほとんど参加しない状況である</p> <p>市が想像しているイメージを完成させるには相当の期間と協力機関の醸成が必要だと思う。</p>
小原会長	<p>私も住民の参画意識が薄いと感している。</p>
伊藤課長	<p>市の自助努力がもっと必要だということはそのとおりだと思う。</p> <p>地区長の責任が重くなって成り手が不足するということについては、可能な限り市からの仕事の押し付けは無くし、これまでのコミュニティ会議代表者としての地域づくりを支援していきたい。特別職として委嘱すると何らかの役割と責任は生じてくるので、意思疎通をよってよりよい方向にしていきたい。</p>
吉田副会長	<p>地域色が薄まっていることについて、何をすることも中央に偏っている。各種団体も配慮していくべきだと思う。</p> <p>この構想で紛らわしいのが、行政区長と地区長との役割、すみわけである。この点を地域懇談会では丁寧に説明してほしい。</p> <p>地区長の設置の目的が、振興センター職員を2人から1人にして経費を節減することもあるのなら、そのことも説明してほしい。</p> <p>地区長のモデル報酬例があるのなら示してほしい。</p> <p>住民に行政区には入っているが、コミュニティ会議には入っていないという意識の者もまだいる。さらなる周知が必要である。</p>
小原会長	<p>コミュニティ会議が知れ渡っていないという話をされるといろいろと考えてしまう。各種広報をしているがなかなか周知されない。</p> <p>委員の皆さんもできる範囲で周知をお願いします。</p>
多田委員	<p>総合支所のサポート体制はぜひ整えてほしい。コミュニティ会議の活性化を図るため定年制も考えてほしい。</p>
伊藤課長	<p>コミュニティ会議会長の報酬は、現在は上限3万円として交付金から支払われているところもある。これを参考にしながら地区長の報酬を検討する。</p> <p>窓口業務も行う非常勤職員には報酬はないが、振興センター等の指定管理の中に、地域づくり支援の人件費を入れる予定だが、コミュニティ会議の裁量も入れながら月額を決めていただきたい。</p>

吉田副会長	社会保険料の関係も配慮した上でのことか。
伊藤課長	共済費も見る。地域によっては2人体制で交替するところもあって必要がないケースもあるが、毎日勤務だと雇用保険や年金が必要になるので、指定管理に見込むこととしている。
小原会長	まだ質問や意見があるかもしれないが、各地区の意見交換会の場に参加して話していただきたい。 市へのお願いになるが、本日の協議会での各委員からの意見で、参考にできるもの、改正できるものがあれば、構想に取り入れてほしい。

4 その他

猿舘委員	予約乗合タクシーが始まったが、一層の周知が必要である。
門馬委員	成島地区で児童館に通うため予約乗合タクシーを利用している児童がおり、ほとんど毎回利用するので、まとめて予約することはできるか。
伊藤課長	今後も周知を図っていく。 児童館の関係は、持ち帰って検討する。
小原会長	改善できる点は改善しながら進めていってほしい。
赤坂総合支所長	次回は、総合計画の変更についての諮問を予定している。時期は11月下旬の見込みである。
小原会長	12月中に自主活動も開催したいのでよろしく願います。

6 閉会（司会）